

# 令和2年度新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う活動報告 No.11

(一社) 沖縄県婦人連合会

市町村名	活動内容	活動方法及び状況
名護市女性会	名護市社会福祉協議会にマスクを寄贈 (300枚) 交通安全街頭運動時にマスクを手渡す (70枚)	名護市女性会員の皆で手作りマスクを作成 (300枚) 社協に寄贈 (障害者支援施設及び介護保険施設職員への配布希望)
うるま市女性連合会	布マスクを手作りしました。	うるま市役所へマスク贈呈
読谷村婦人会	手作り布マスク作り	「想い合い手作り1000人プロジェクト」を立ち上げ2週間で500枚の手作りマスクが出来上がり、読谷村へ寄贈いたしました
北中城村婦人会	手作りマスクを村内の小中学校に配布	会員にLAIN、電話等で依頼し、各自自宅で作成1週間程でとりまとめ、中学校へ50枚、2小学校に177枚配布
沖縄市女性連合会	布マスク作成・健康講座の開催	沖縄市・沖縄市社会福祉協議会へ寄贈 (1000枚) 7/12 (日) 宿泊研修「感染症について」勉強会を実施
宜野湾市婦人連合会	布マスク作成	宜野湾市社会福祉協議会へ150枚 宜野湾市生涯学習課へ20枚・代議員へ31枚・宜野湾市教育委員会へ45枚・行政へ20枚遺贈
浦添市婦人連合会	手作りマスク150枚作成し、子ども高齢者へ届ける コロナ発生時の生活状況についてアンケート調査 (別冊)	新型コロナ拡大防止対策についてマスクづくりして市や福祉団体に寄贈 会員の状況を把握し、会員よりアンケートをとりデータ化にしてコロナ第2波、第3波に向けた取り組みに反映したい。同時に生活の変化の質の向上を図る
八重瀬町女性会	布マスクを作って八重瀬町社会福祉協議会へ寄贈	社協より福祉事業所に配布。作業所よりお礼の手紙とシフォンケーキを頂いた。
北大東村婦人会	幼稚園から中学3年生へ手作りマスクを贈呈	婦人会役員で分担し作業を行いマスク作りを完成
宮古地区婦人連合会	布マスク制作 (宮古島市保健衛生課と相談の上実施) 講習会 (自治団体、各婦人会団体、各職種団体、個人) 新聞紙にて募集案内し、3蜜防止のため自粛しながら行う	講師は婦人会役員 (洋裁のプロ) から習得し講習会を行う講習会を受講できない方には型紙を配布。ミシン縫いでなく手縫いマスクも作成し2種類のマスクを紹介
石垣市婦人連合会	石婦連として、石垣市へ手作りマスクを寄贈。 各単婦で老人会、公民館、学校等へ手作りマスクを寄贈	石婦連⇒4/27 (月) 5/7 (木) 石垣市へ 新栄町婦人会、石垣婦人会、大川婦人会、大浜婦人会、登野城婦人会から各地区の老人会、こども園、小学校、福祉施設などへ手作りマスク遺贈

宮古地区地区婦人連合会



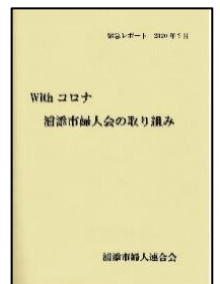
北大東村婦人会



浦添市婦人連合会



浦添市婦人連合会様 (150枚)



アンケート冊子  
(調査内容は別紙)

## 地元新聞紙に取り上げられた

### 中部地区婦人連合会


**中部地区婦連が 医師会にマスク** 2/5

手作り150枚

【中部】中部地区婦人連合会（沖縄市、宜野湾市、うるま市、北中城村、読谷村、恩納村）の川上の子会長ら役員は15日、北谷町宮城の中部地区医師会を訪ね、手作りマスク150枚を贈った。

川上会長が「新型コロナウイルス感染拡大防止のため日夜頑張っておられる医療従事者に活用してほしいと会員が手分けして真心を込めて作りまして、洗い直しができる布製です。お役に立てれば幸いです」と話した。

医師会検診センター上原元所長代理が「現在使い捨てマスクを使用している。第2波、3波を懸念している。婦人会のご厚意ありがたい。有効に活用したい。カラフルで気持ちが和む」と礼を述べた。（翁長良勝通信員）



中部地区医師会の上原元所長代理（前列左から3人目）にマスクを贈る川上の子会長（同4人目）ら15日、北谷町

### 沖縄市女性連合会

**沖縄市社協へ マスクや食料** 5/31

市女性連合会と消防団

【沖縄】市女性連合会と市消防団が18日、市社会福祉協議会（島田薫会長）に手作りの布マスクをそれぞれ500枚、115枚寄贈した。社協が呼び掛けるフードバンク事業（ひとり一品運動）に米やそうめんなど約80キロの食料も寄贈した。

両団体で代表を務める久高清美さんは「必要とされている方々にぜひ活用してほしい」と話した。島田会長は「子ども用マスクも多く作っていただき、ありがたい。多くの方々に使ってもらうようにしていきたい」と感謝した。



沖縄市社会福祉協議会の島田薫会長（左から2人目）に手作りマスクや食料を寄贈した同市の女性連合会会長と消防団長を務める久高清美さん（中央）ら18日、沖縄市佳吉

### 宜野湾市婦人会

**【宜野湾】市婦人連合会の 前田美恵子会長ら役員が8日、市社会福祉協議会に多和田眞光会長を訪ね「新型コロナウイルス感染症拡大防止の一助に」と手作りマスク150枚を贈った。**

前田会長は「市民の相談窓口になり毎日多忙な職員の役に立てれば幸い。会員が真心を込めて作った」と話した。同会が2月に開いた創立70周年記念事業の余剰金2万円も寄付した。

多和田会長は「コロナ禍で市民の相談が増えている。マスクは大変ありがたい。2万円の浄財もありがたく有効に活用したい」と礼を述べた。（翁長良勝通信員）



### 八重瀬町女性会

**当銘女性会が 手作りマスク** 6/2

八重瀬社協へ贈る

【八重瀬】町字当銘女性会（金城留美会長）は5月14日、町社会福祉協議会（金城榮幸会長）へ手作りマスク100枚を寄贈した。写真。困っている人の役に立ちたいと、会員が自主的に取り組み、使っていない生地や着ていない着物などを活用。「3密」を避け、各自が自宅で作り、持ち寄った。

マスクには「命どう宝」新型コロナウイルスの感染に気を付けましょう」とメッセージを添え、包装。町社協の

金城会長は「心遣いに感謝している。新型コロナウイルスの影響に伴う相談者にも配布したい」とお礼を述べた。女性会のメンバーは「少しでも皆さんのお役に立つことができれば、うれしい」と話していた。（中村枝史奈通信員）

